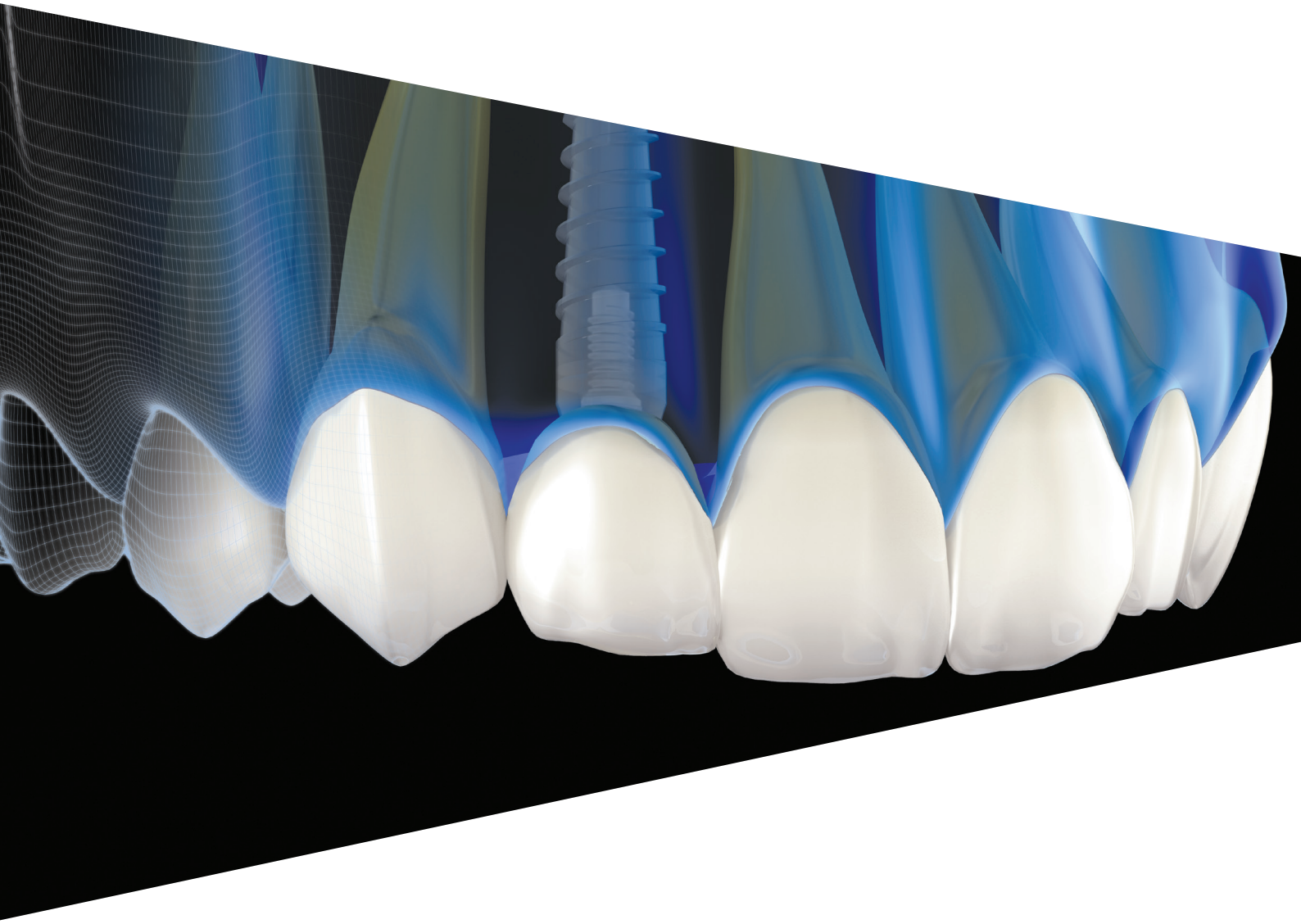
PRAMA

プラマインプラント
補綴マニュアル



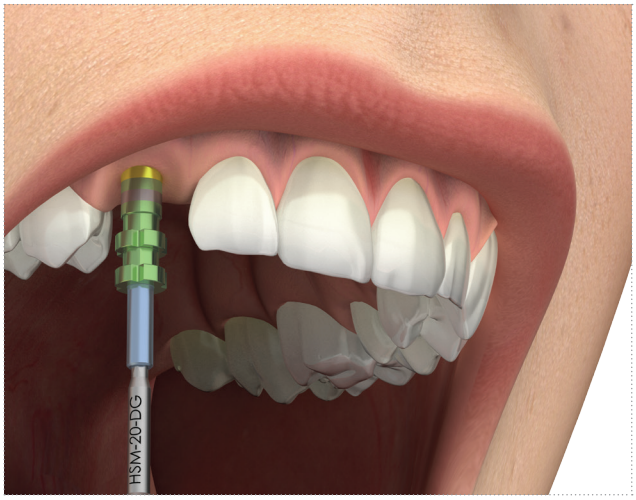
sweden & martina
IMPLANTOLOGY

シングル（単冠）印象

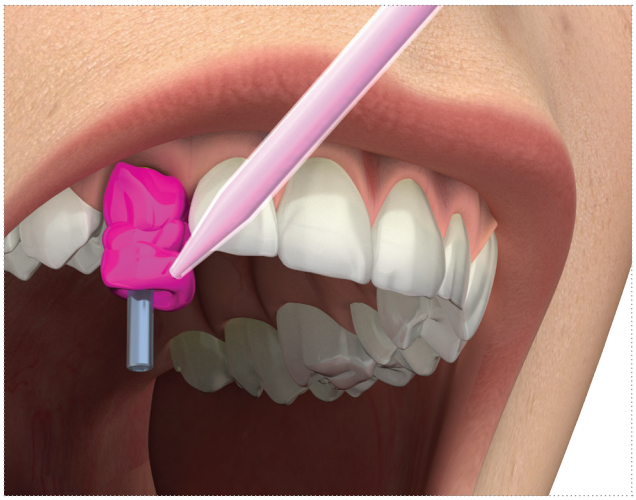
プラマインプラントは粘膜貫通型のエマージェンスのため、一回法の術式で行います。
治癒期間後に印象採得する場合は、カバースクリューまたはヒーリングキャップを外してください。

付属のFスクリューとHSM**シリーズドライバーを使用してピックアップ印象キャップを固定します。
8-10Ncm以上の力を加えないようにしてください。

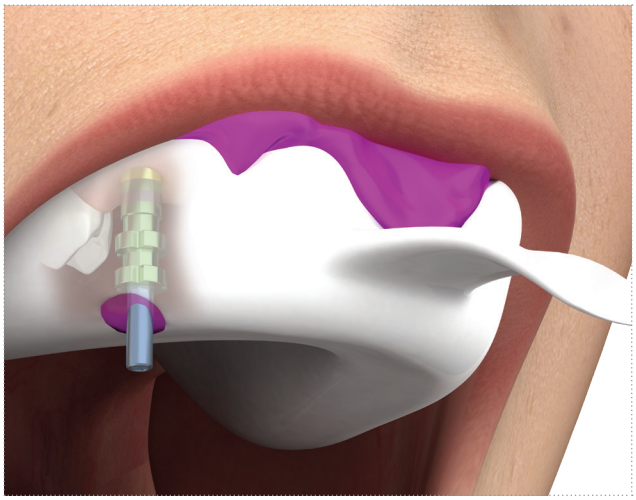
注意：スクリュードライバーは、臨床条件に応じた長さを選択してください。
スクリュードライバーには、ラチェット用やコントラ用があります。



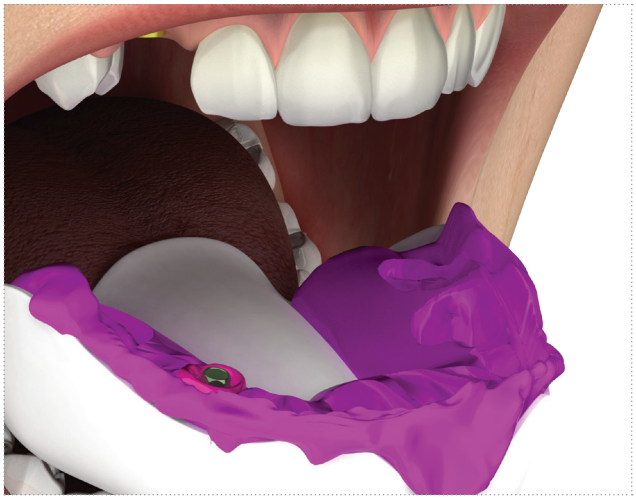
個人トレーのアクセスホールからFスクリューの上部が十分に出ていることを確認してください。
シリコン印象材を印象キャップとインプラントのマージン付近に注入してください。



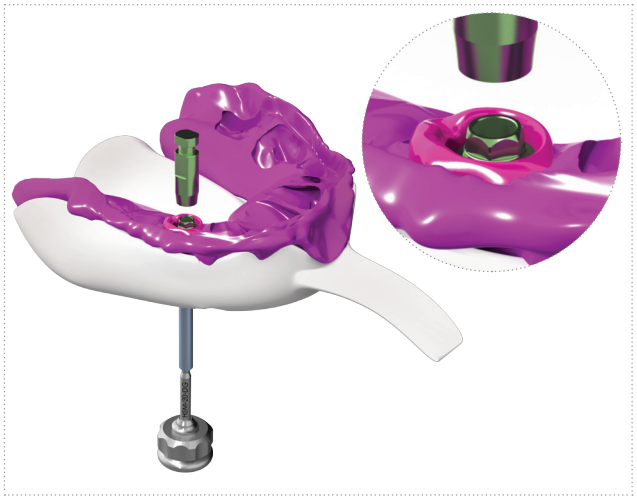
印象トレー全体に印象材を充填します。
口腔内を印象採得します。
硬化時間などは各メーカーの指示に従ってください。



印象トレーを口腔内から取り出す際に、Fスクリューの落下防止のため、Fスクリューを印象から取り外してください。
ピックアップ印象キャップは、印象トレーに取り込まれます。



プラマインプラントアナログをFスクリューで固定します。
締付けトルク値は8-10Ncmです。
通法に従って、模型を作製してください。

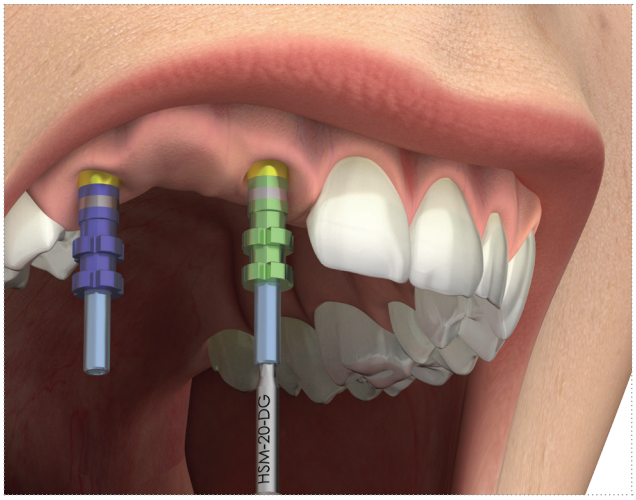


ブリッジ（連結冠）印象

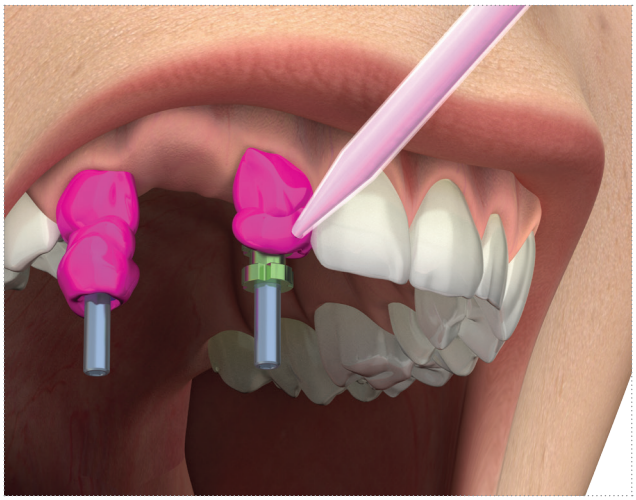
プラマインプラントは粘膜貫通型のエマージェンスのため、一回法の術式で行います。
治癒期間後に印象採得する場合は、カバースクリューまたはヒーリングキャップを外してください。

付属のFスクリューとHSM**シリーズドライバーを使用してピックアップ印象キャップを固定します。
8-10Ncm以上の力を加えないようにしてください。

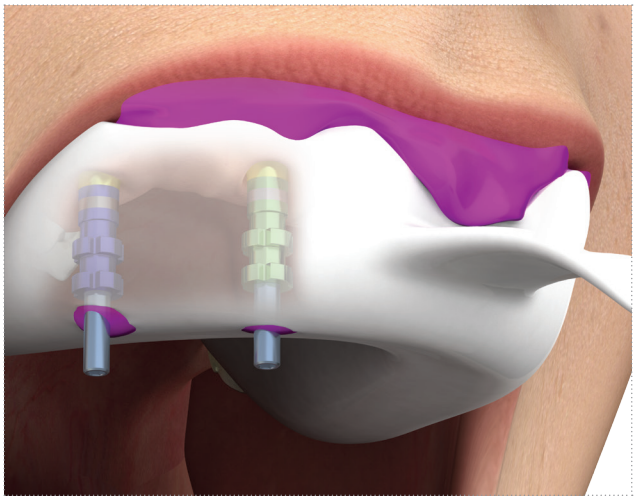
注意：スクリュードライバーは、臨床条件に応じた長さを選択してください。
スクリュードライバーには、ラチェット用やコントラ用があります。



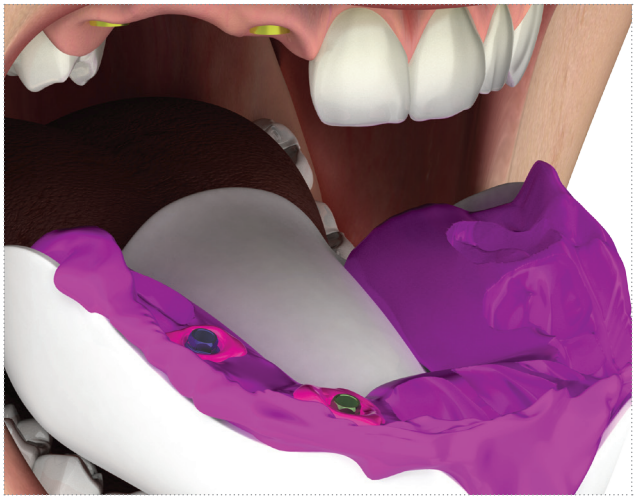
個人トレーのアクセスホールからFスクリューの上部が十分に出ていることを確認してください。
シリコン印象材を印象キャップとインプラントのマージン付近に注入してください。



印象トレー全体に印象材を充填します。
口腔内を印象採得します。
硬化時間などは各メーカーの指示に従ってください。



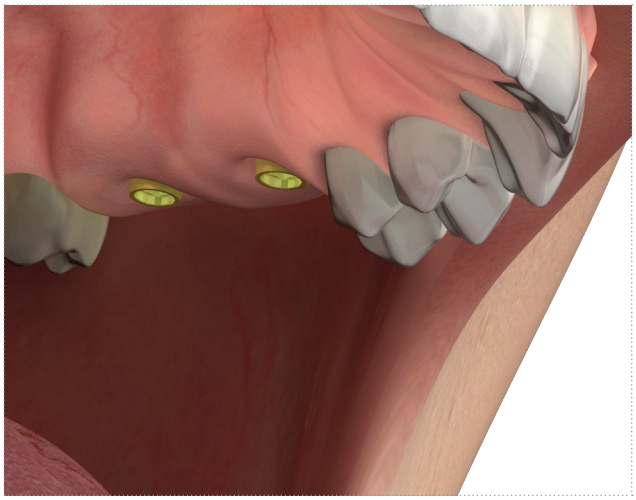
印象トレーを口腔内から取り出す際に、Fスクリューの落下防止のため、Fスクリューを印象から取り外してください。
ピックアップ印象キャップは、印象トレーに取り込まれます。



プラマインプラントアナログをFスクリューで固定します。
締付けトルク値は8-10Ncmです。
通法に従って、模型を作製してください。

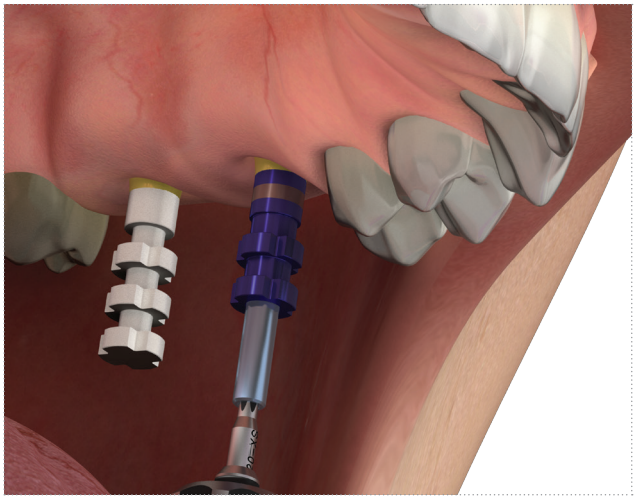
混合手法によるブリッジ印象

プラマインプラントは粘膜貫通型のエマージェンスのため、一回法の術式で行います。
治癒期間後に印象採得する場合は、カバースクリューまたはヒーリングキャップを外してください。

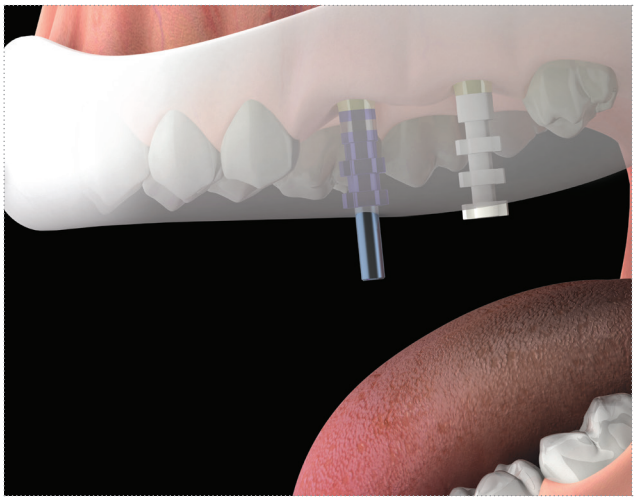


遠心側の印象採得や口が十分に開くことが出来ない場合、ピックアップ印象キャップとプルアップ印象キャップを使用して印象採得を行うことができます。
プルアップ印象キャップは、特別な維持機構により簡単に印象採得することができます。
ピックアップ印象キャップは、付属のFスクリューとHSM**シリーズドライバーを使用してピックアップ印象キャップを固定します。
8-10Ncm以上の力を加えないようにしてください。

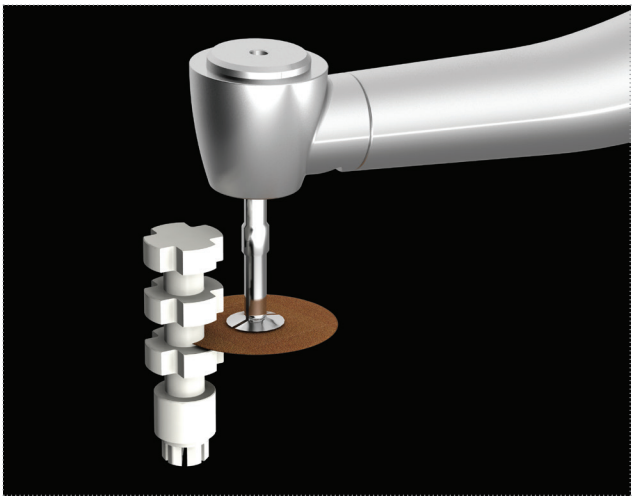
注意：スクリュードライバーは、臨床条件に応じた長さを選択してください。
スクリュードライバーには、ラチェット用やコントラ用があります。



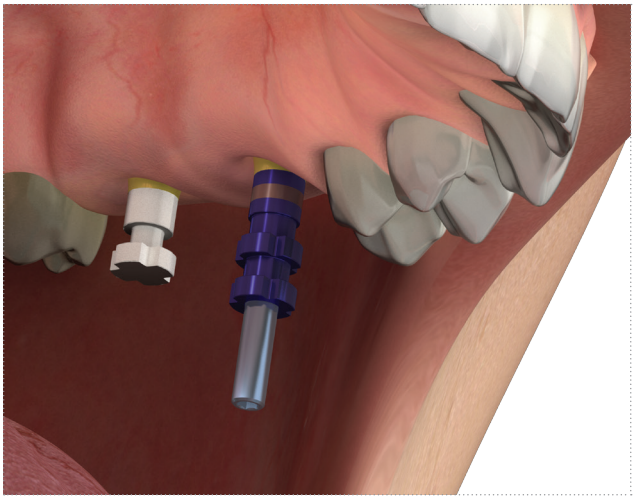
個人トレーのアクセスホールからFスクリューの上部が十分に出ていることを確認してください。



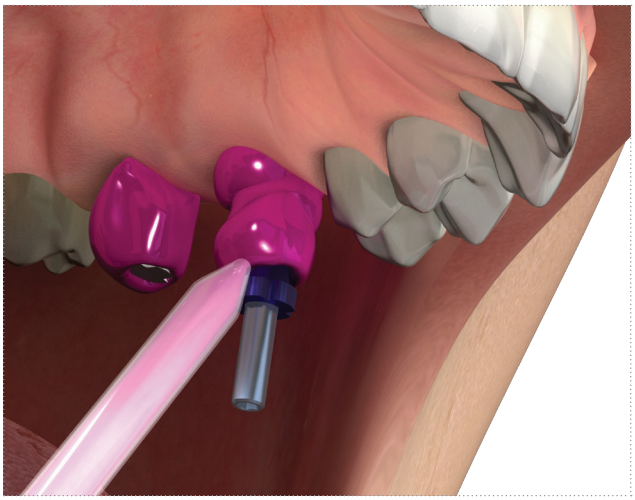
プルアップ印象キャップが長い場合、スペースに合わせて短くカットすることできます。
カッティングディスクでプルアップ印象キャップの上から１段目または2段目をカットしてください。



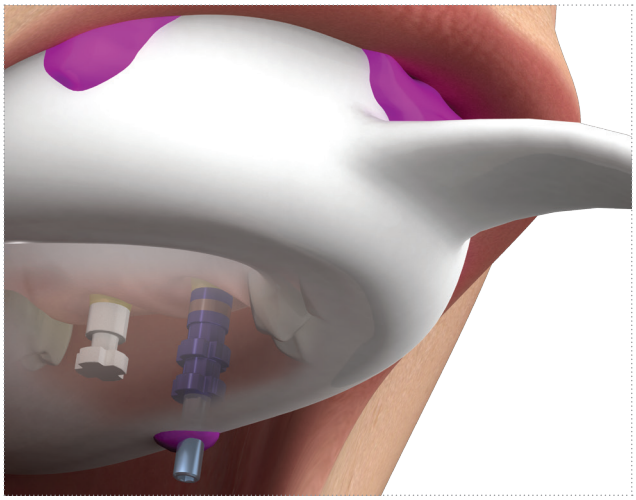
カットしたプルアップ印象キャップをインプラントにセットします。
軽く手で固定してください。



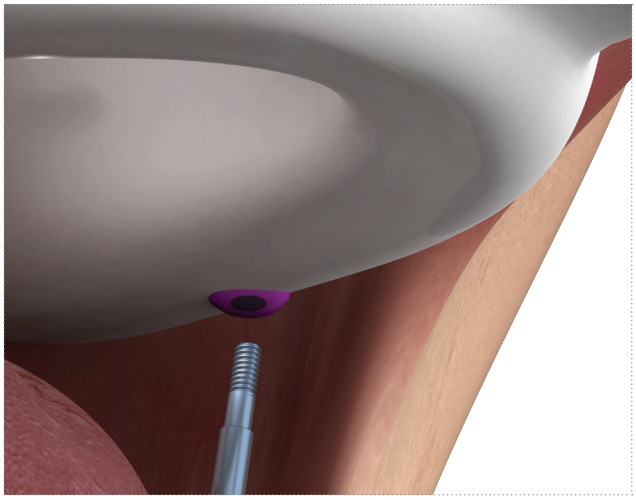
シリコン印象材を印象キャップとインプラントのマージン付近に注入してください。



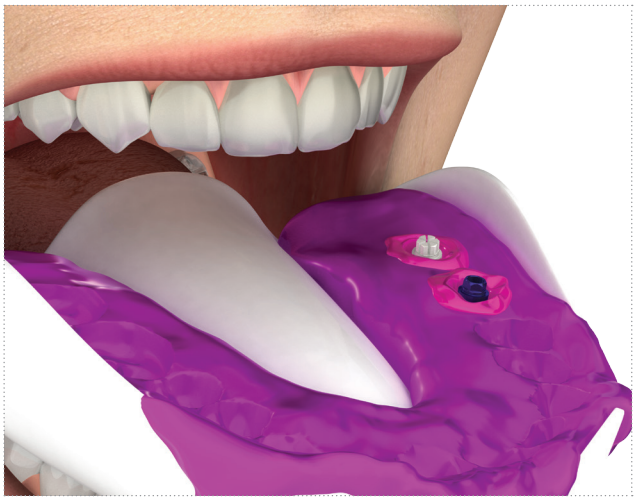
印象トレー全体に印象材を充填します。
口腔内を印象採得します。
硬化時間などは各メーカーの指示に従ってください。



印象トレーを口腔内から取り出す際に、Fスクリューの落下防止のため、Fスクリューを印象から取り外してください。
各印象キャップは、印象トレーに取り込まれます。



印象材硬化後、印象トレーを取り外します。
ピックアップ印象キャップとプルアップ印象キャップは印象トレーに取り込まれます。



プラマインプラントアナログをFスクリューで固定します。
締付けトルク値は8-10Ncmです。
通法に従って、模型を作製してください。

重要注意
プルアップ印象キャップには、カラーコードがありません。歯科技工所で正しいインプラントアナログを模型に使用できるように、臨床医は各ポジションのインプラント径を技工所に指示してください。正しい模型を作成するため、各印象キャップにインプラントアナログを取り付けた状態で、歯科技工所に送付するように推奨しています。通法に従って模型を製作してください。

治癒期間とコンディショニング：単冠

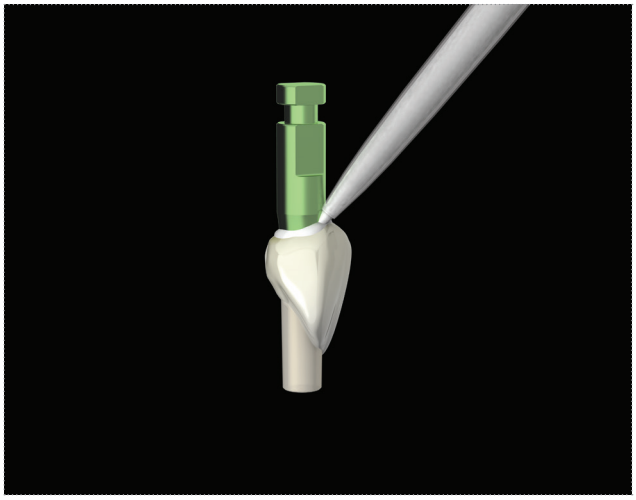
カバースクリューまたはヒーリングキャップを外します。

リポジショニング用ヘキサゴンが設定されているレジン印象キャップ（角）をインプラントに固定します。
適切な長さのHSM**シリーズドライバーを使用してください。

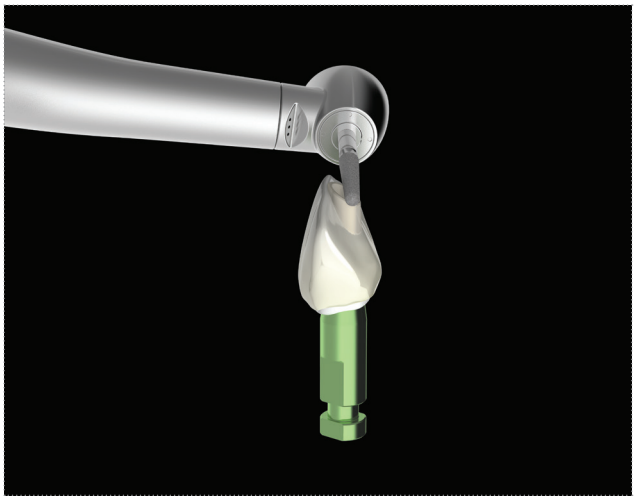
歯科技工所にてシリンダー状のスペースがある補綴物を製作しレジン印象キャップに装着します。

レジンを使用してレジン印象キャップにテンポラリークラウンを固定します。
各メーカーの指示に従い重合してください。

重合した後、結合している二つのパーツを外し、それらをインプラントアナログに取り付け、製作した補綴物とレジン印象キャップの間のスペースをレジンで充填します。



挿入したテンポラリーポストをオクルーザル側と根尖側の両方で仕上げます。
オクルーザル側は余分な部分をトリミングし、根尖側はエマージェンスプロファイルに従って形状を調整します。



FスクリューとHSM*シリーズドライバーでインプラントにテンポラリーポストを取り付けます。

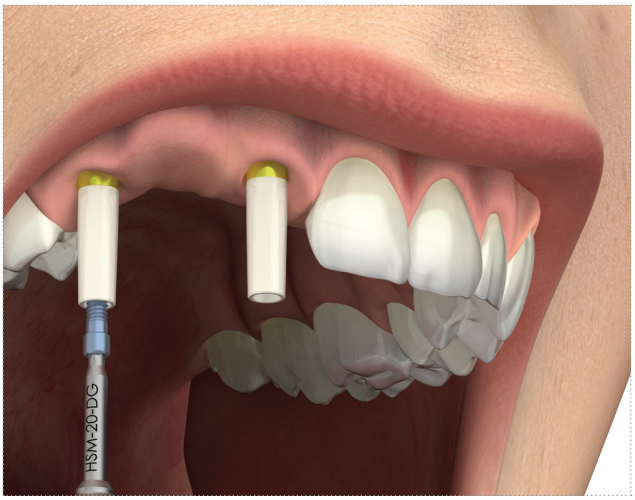
重要注意
締付けトルク値は、8-10Ncmを超えないようにしてください。

テンポラリー補綴物は、患者様のQOLに貢献するだけでなく、最適な審美性を獲得するための歯肉の正しい形態形成にも役立ちます。

治癒期間とコンディショニング：ブリッジ

カバースクリューまたはヒーリングキャップを外します。

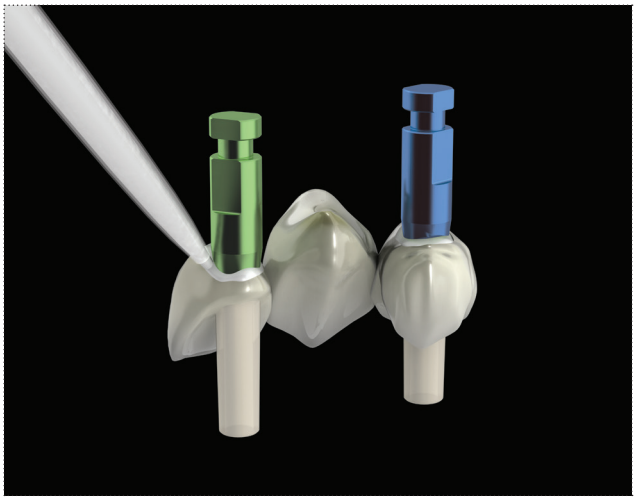
リポジショニング用ヘキサゴンのないレジン印象キャップ（丸）をインプラントに固定します。
適切な長さのHSM**シリーズドライバーを使用してください。



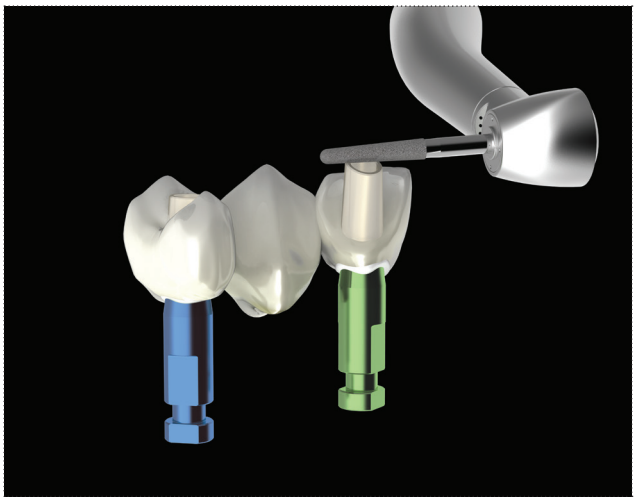
歯科技工所にてシリンダー状のスペースがある補綴物を製作しレジン印象キャップに装着します。

レジンを使用してレジン印象キャップにテンポラリークラウンを固定します。
各メーカーの指示に従い重合してください。

重合した後、結合している二つのパーツを外し、それらをインプラントアナログに取り付け、製作した補綴物とレジン印象キャップの間のスペースをレジンで充填します。

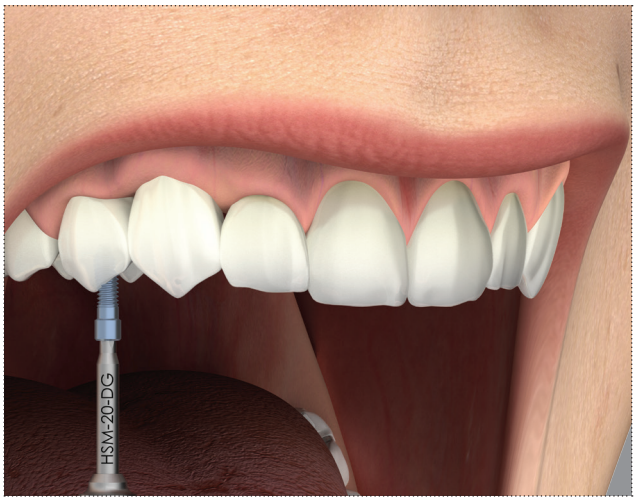


挿入したレジン印象キャップをオクルーザル側と根尖側の両方で仕上げます。
オクルーザル側は余分な部分をトリミングし、根尖側はエマージェンスプロファイルに従って形状を調整します。



FスクリューとHSM*シリーズドライバーでインプラントにテンポラリーポストを取り付けます。

重要注意
締付けトルク値は、8-10Ncmを超えないようにしてください。



テンポラリー補綴物は、患者様のQOLに貢献するだけでなく、最適な審美性を獲得するための歯肉の正しい形態形成にも役立ちます。

セメンテーションによる単冠

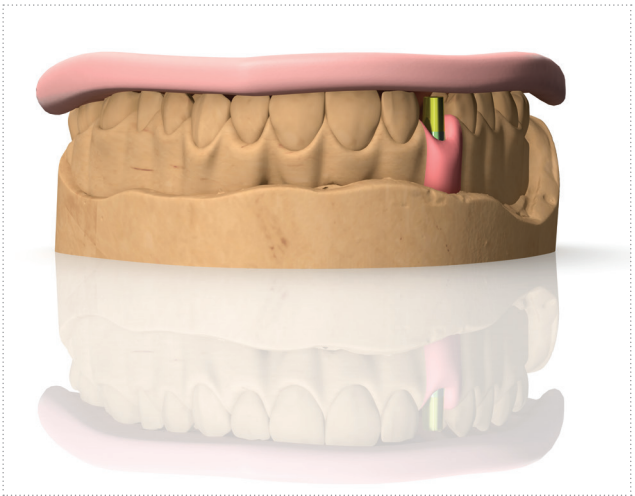
専用のHSM*シリーズドライバーでプラマ印象キャップにアナログを取り付けます。

ワックスまたはレジンで印象用のボックスを作成し、通法に従い石膏模型を製作します。
プラマインプラントアナログは、インプラントの粘膜貫通ネックの位置を正確に再現します。

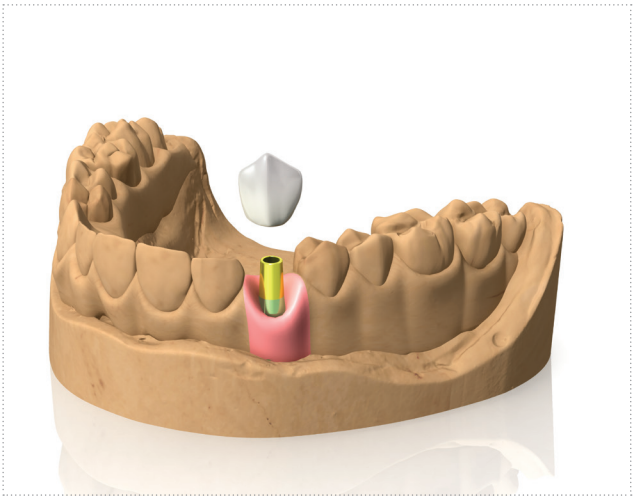
ストレートポストまたはアングルポストをアナログに取り付けます。
コニカルサポートを備えたフルヘッドスクリューとL-HSM*シリーズ専用ドライバーを使用してください。

重要注意
技工作業では、テストスクリューを使用ししてください。
口腔内で使用するスクリューは新しいスクリューを使用してください。模型上の締付けトルク値は8-10Ncmを超えないようにしてください。

模型を咬合器に装着後、対合歯とのクリアランスによりポストの高さを決定します。
同時に、望ましい軟組織形態を決定して、石膏模型を作成し、最適な軟組織形態を決定するためにガム模型材を使用し、新しいエマージェンスプロファイルを再度作成します。

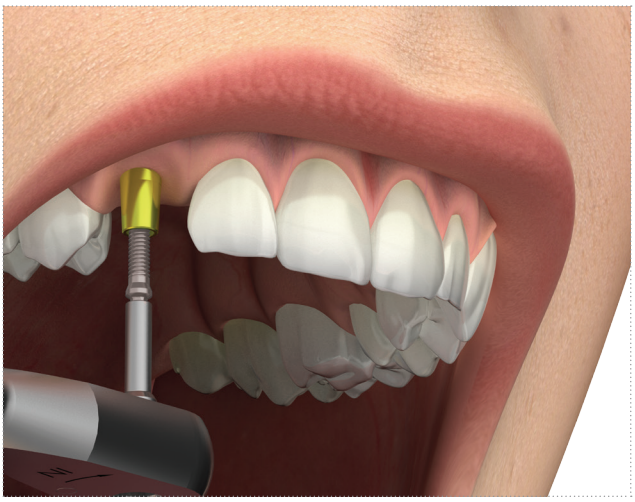


形状、ボリューム、咬合を決定し、通法に従ってクラウンを作成します。



コニカルサポートのついたフルヘッドスクリューとL-HSM*シリーズの専用ドライバーを使用して、ポストをインプラントに連結します。

重要注意
締付けトルク値：20-25 Ncm.



ポストにクラウンをセメントで固定します。

歯肉がクラウンの形態に適合し、事前に計画したエマージェンスプロファイルが作成されます。

セメンテーションによるブリッジ

専用のHSM*シリーズドライバーでプラマ印象キャップにアナログに取り付けます。

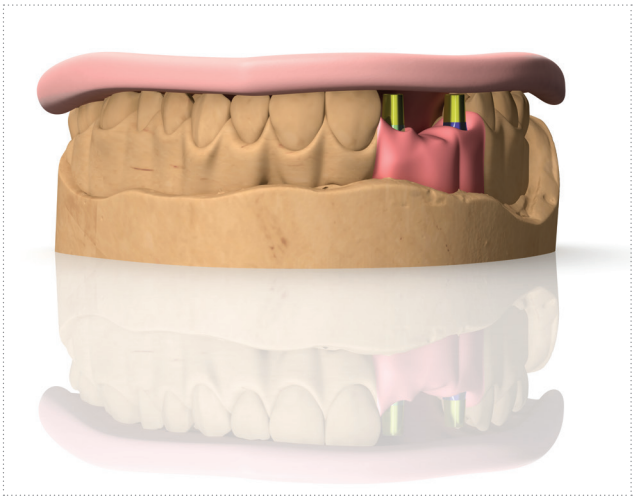
重要注意
必ずカラーコードを参照し、印象パーツとインプラントアナログが同じ径かを確認してください。

ワックスまたはレジンで印象用のボックスを作成し、通法に従って石膏模型を製作します。
プラマインプラントアナログは、インプラントの粘膜貫通ネックの位置を正確に再現します。

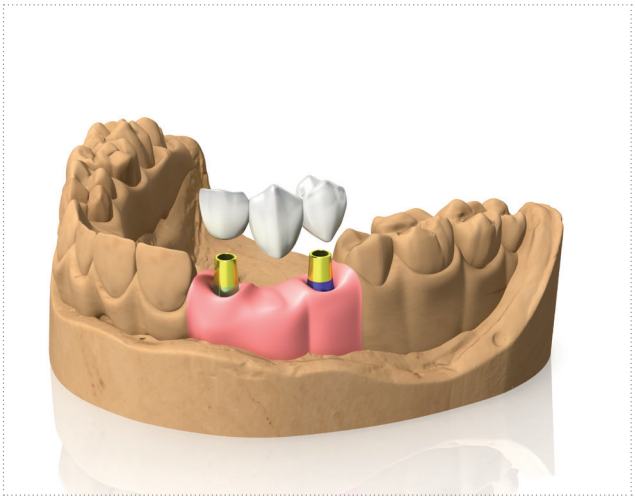
ストレートポストまたはアングルポストをアナログに取り付けます。
コニカルサポートを備えたフルヘッドスクリューとL-HSM*シリーズ専用ドライバーを使用してください。

重要注意
技工作業では、テストスクリューを使用ししてください。
口腔内で使用するスクリューは新しいスクリューを使用してください。模型上の締付けトルク値は8-10Ncmを超えないようにしてください。

模型を咬合器に装着後、対合歯とのクリアランスによりポストの高さを決定します。
同時に、望ましい軟組織形態を決定して、石膏模型を作成し、最適な軟組織形態を決定するためにガム模型材を使用し、新しいエマージェンスプロファイルを再度作成します。



形状、ボリューム、咬合を決定し、通法に従ってクラウンを作成します。



コニカルサポートのついたフルヘッドスクリューとL-HSM*シリーズの専用ドライバーを使用して、ポストをインプラントに連結します。

重要注意
締付けトルク値：20-25 Ncm

ポストにクラウンをセメントで固定します。

歯肉がブリッジの形態に適合し、事前に計画したエマージェンスプロファイルが作成されます。

NOTES

sweden & martina

大信貿易株式会社
DAISHIN TRADING CO.,LTD.
本社〒592-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町3-231-3
http://www.daishintrading.co.jp

大信受注センター
tel.0120-382-118　fax.0120-089-118

SM-17.1.e.p　Rev.09-14